



2016年10月31日（月）

フジサンケイビジネスアイ

オロ 70言語対応ツール提供

訪日客のニーズをSNS分析

訪日外国人向けマーケティング支援を手掛けるオロ（東京都目黒区）は、訪日外国人に特化した会員制交流サイト（SNS）分析ツール「Talkscope（トークスコープ）」の提供を始めた。トースコープは、消費者ニーズや自社ブランド評価の分析、旅行者の行動把握など多くの用途に活用できる。統計データからは分からぬ訪日外国人の生の声から、マーケティングに役立つ具体的で有効なデータを入手する。

日本国内で投稿された70言語180カ国に対応。使用言語、居住国・地域、性別、指定のキーワード、投稿した場所、期間などを絞り込んで表示。データは1年6カ月前まで蓄積し、年間のトレンド推移や前年対比などを

時系列でも分析する。

分析結果は円グラフ、折れ線グラフ、表、画像付き投稿データ一覧などで可視化する。SNSの位置情報をを利用して、地図上でエリアごとに投稿件数を表示、集計するとともに特定の地域を指定することで、より高精度な解析も可能になる。

同社の海外拠点ネットワークを生かし、現地スタッフによる

分析も合わせて、コンサルティングサービスも提供する。

利用料は月額8万6400円。コンサルティングサービスについては別料金。今後は、訪日外国人向けに絞り込んだ広告メニューを提供するほか、外国で投稿されたSNSも対象に加えることで来日前と帰国後の口コミを分析し、より幅広いデータの収集、分析を可能にする。